

プラットフォーム確認事項から課題抽出

安芸市	<ul style="list-style-type: none"> ・農家側は労働力確保のため雇用ニーズはあるが、障害者等との雇用形態の一致が難しく、マッチングに結びつかない ・障害者等に基本的な技術が身につくまでの伴走支援が必要 ・閑散期の作業確保等
室戸市	<ul style="list-style-type: none"> ・就労場所等までの交通手段の確保 ・障害者等に基本的な技術が身につくまでの伴走支援
南国市	・当市では、取組意向のある事業者が既に取り組んでおり、課題としては特に無し。
香美市	・農福連携は重層的支援体制整備事業の一環として実施することで、効率的に実施できると考えているが、人材不足のため重層的支援体制整備事業開始の見通しが立たない。
香南市	・取組内容の周知方法及び取組ニーズの把握。
嶺北	<ul style="list-style-type: none"> ・障害特性などもあり、どの作業も可というわけではない。出来ることを見極めたうえで、時には仕事を切り分けて指導する必要がある。 ・天候などに左右されやすいので、相手側の都合と事業所の都合が合わせにくい時もある。 ・職員の引率が必要になってくると、職員体制の都合でマッチング出来そうな案件でも個別支援できないときもある。
土佐市	<p>農家側：障害種別による特性への理解及び支援方法の啓発・教授 支援側：季節ごとの作付け・農作業内容についての理解 双方にとっての「当たり前は当たり前ではない」等のお互いが補完し合えて、被支援者にとって適切な支援ができる関係の構築が必要。</p>
いの町	<ul style="list-style-type: none"> ・農業分野、福祉分野双方の理解を深める ・就労体験拠点設置事業については、農業分野だけでなく、他の業種や他市町村の利用を可能とし、体験場所を増やし選択肢を広げる。 ・様々な居場所の創出
高知市	<ul style="list-style-type: none"> ・農業側と福祉側の相互理解の促進。 ・就労継続支援事業所への委託に適した作業の掘り起こし。
越知町	<p>福祉部門との連携 (障害者や生きづらさを抱えた方への理解・雇用の際の注意点等)</p>
仁淀川町	<ul style="list-style-type: none"> ・農家側の委託ニーズはあるが、施設外就労に取り組んでいる障害福祉事業所が町内にない。 ・障害者等に基本的な技術が身につくまでの伴走支援が必要。
須崎市	<ul style="list-style-type: none"> ・一般雇用を進めるうえでの支援策の不足 ・マッチングの際の、農家等、障害者等それぞれの求めるものすり合わせ。 ・雇用後の伴走支援。
四万十町	<ul style="list-style-type: none"> ・就労体験可能な企業や法人の不足 ・取り組み内容に理解がある、または取り組める状況の農家が少ない ・マッチングの成立はケース b y ケースで、やってみないとわからない
幡多	<ul style="list-style-type: none"> ・農家のほ場・作業場は郊外となることがほとんどであり、農産物の運搬、現地への人を搬送する交通手段・方法がない、または少ない。 ・障害者等が実施できる行程作業の分割や方法が明確化できていない。 ・農家の農福連携に対する認識・理解が十分でない。 ・個人での移動手段を持っていない、また公共交通手段がない、少ない。 ・農作業現場でトイレや休憩所等の整備ができているところが少ない。 ・福祉側との定期的な連携する会議等が少ない。